

# 浄化槽 とやま

平成30年1月

2018 No. 83



2Fから立山連峰が一望できます。

平成29年8月、アートとデザインをつなぐ世界で初めての美術館「富山県美術館」が、富山駅北、環水公園の隣にオープンしました。



オノマトペの屋上



## 目次

- ・年頭のご挨拶
- ・理事会／委員会
- ・浄化槽関係要望（県知事・市町村長）
- ・普及啓発活動
- ・講習会
- ・富山県総合防災訓練
- ・青年部会活動
- ・国 新年度予算案（浄化槽関係）
- ・寄稿
- ・全浄連／教育センター／東海北陸ブロック協議会
- ・お知らせ

# 年頭のご挨拶

公益社団法人富山県浄化槽協会

会長 上田 勝朗



近年では、浄化槽や下水道による生活排水処理のあり方が課題となっており、総務省、国土交通省、環境省が全国で行う「浄化槽トップセミナー」が全国各地で開催され、市町村長や議員、行政の皆さんに大きな刺激を受け、集合処理から個別処理に一部転換されるところが多数出ています。

富山県においては、富山県浄化槽協会が資料を持って市町村長に直接お会いして説明をする活動を4年間続けた結果、確実に下水道から浄化槽に転換されていく地域が増えています。これは、業界だけのために行っているのではなく、生活排水処理施設の維持管理を行っている団体として、現場からの提案として説明をしています。下水道と浄化槽による生活排水処理の役割分担であり、経済性も考慮し、適材適所で使って欲しいと思います。

市町村が浄化槽整備に転換する中で、浄化槽の信頼を高めることが必要です。法定検査の結果からして維持管理業務は正しく行われていますが、住民の皆さんから浄化槽は良いものだと思っていただけるような信頼が必要です。特に、し尿だけを処理している単独処理浄化槽を生活排水を全部処理する合併処理浄化槽への転換が急務です。名水の県として、生活排水の流れ流しは恥ずかしいことです。

最後にPRですが、プロワー等の機械設備交換の補助制度があります。大型浄化槽の設備の二酸化炭素排出抑制対策・省エネ型システムへの設備交換の半額補助制度を使って、設置者への情報提供により信頼関係を築いていただきたいと願っています。

# 年頭のご挨拶

富山県生活環境文化部長

磯部 賢



平成30年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申しあげます。

公益社団法人富山県浄化槽協会の皆様には、日頃から本県の環境行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

貴協会におかれましては、浄化槽管理士等を対象とした各種講習会の開催や、「とやま環境フェア」や「こども環境教室」による浄化槽に関する正しい知識の普及、清掃美化活動「富山にecoとプロジェクト」の実施など、幅広く啓発活動等を展開されていることに深く敬意を表します。

さて、本県が誇る富山湾は、その素晴らしい景観などの魅力とともに、県民総ぐるみで環境を守る取組みを推進していることなどが高く評価され、ユネスコが支援する「世界で最も美しい湾クラブ」の総会が日本で初めて2019年に本県で開催されることが内定するなど、富山湾をはじめとする「水の王国とやま」は世界的にも注目を集めています。

こうした世界に誇るべき大切な県民の財産である快適で恵み豊かな本県の水環境をしっかりと

と後世に引き継いでいくうえで、経済的かつ効率的に整備できる浄化槽は非常に大きな役割を果たしており、今後の人口減少や厳しい財政状況等を踏まえながら県内の汚水処理施設の整備を進めるためにも、ますます大きな役割を担うものであると考えられます。

このため、県では、国や市町村と一体となって、地域の実情に即した浄化槽の整備を進めるとともに、貴協会との連携のもと、保守点検や清掃といった維持管理の適切な実施、法定検査の受検率の向上など、浄化槽の信頼を一層高めていくことができるよう、精一杯取り組んでまいります。

平成になってから30年という節目の年であり、また来年5月の新元号のスタートに向けても、ふるさと富山が大きく飛躍できるよう、本年も官民一体となった取り組みを一層進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますのご発展と、皆様方のご健康、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のご挨拶といたします。

# 年頭のご挨拶

富山県合併処理浄化槽普及促進協議会

富山市環境部長 伊藤 曜一



平成30年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

公益社団法人富山県浄化槽協会並びに協会会員の皆様におかれましては、日頃から環境行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、浄化槽の適正な維持管理の推進、環境保全意識の高揚に向け、JR富山駅前での街頭啓発、ラジオ放送、新聞の「浄化槽の日特集記事」掲載など活発な啓発活動等を行っておられますことに深く敬意を表する次第であります。

お陰を持ちまして、富山県内における汚水処理人口普及率は、平成28年度末で96.3%となり、都道府県別順位は前年に引き続き第8位で、東海・北陸地区でも前年と同じく第1位となりました。このことは、皆様と共に手をたずさえて事業を進めてまいりましたことが、順調な汚水処理施設の整備に繋がったものだと考えております。

さらに、昨年5月には101人槽以上の大型合併処理浄化槽からの二酸化炭素抑制を図るため、環境省の新しい補助事業である「省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業」の説明会を富山市で開催され、11月末で県内から8件の申請があつたと伺っており、既設の大型浄化槽の機械

設備の省エネ改修が進めば、温室効果ガスの排出削減に大きく寄与するとともに、老朽化した浄化槽の長寿命化が期待されるところであります。

さて、富山市では「環境未来都市」や「エネルギー効率改善都市」として「コンパクトなまちづくり」をはじめ、地域特性を生かした再生可能エネルギーの積極的な活用など、様々な環境施策を推進するとともに、成功事例を他都市が抱える課題の解決や、地域の活性化につなげるため、昨年12月に「低炭素社会形成に向けた都市間連携フォーラム」を開催し、これからの都市が果たすべき役割や都市間連携の意義について理解を深めたところであります。

低炭素社会を実現し、大きく飛躍するためにも、貴協会並びに皆様方の果たす役割は、ますます重要なものとなってきており、今後とも十分な連携のもと、的確な施策を実施してまいりたいと考えておりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、公益社団法人富山県浄化槽協会のさらなるご発展と、新しい年が会員の皆様にとって健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

# 理事会／委員会

## ◎平成29年度第2回臨時理事会を開催 — 県知事及び市町村長への要望に向けて—

◆10月25日(水)午後〈富山商工会議所ビル〉

第2回臨時理事会が開催されました。

【決議事項1】では、要望案及び訪問日程、訪問者について審議され、異議なく原案どおり承認されました。

【決議事項2】の行政との懇談会等の開催についてでは、来年1月下旬に行うこと、出席対象者、次第等について審議されました。開催日については、県と日程調整のうえ決定したいと説明があり、異議なく原案どおり承認されました。

【決議事項3】では、11月から3月までの事業予定が説明され、異議なく承認されました。来年度の事業計画や予算を審議する3月の定例理事会が20日に決定しました。

【報告事項1と2】では、会長と専務理事からそれぞれの職務執行状況について報告を行った。また、【報告事項3から5】では、事務局が資料に基づき報告を行い、いずれも質疑はありませんでした。

【その他】では、環境省の補助事業である省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業の進捗状況、青年部会の入会推薦のお願い及び事務所の移転先候補案の説明がありました。

### 〈第2回臨時理事会の議題〉

#### 【決議事項】

- 1 市町村長及び県知事への要望について
- 2 行政との懇談会等の開催について
- 3 今後の事業予定について

#### 【報告事項】

- 1 会長の職務執行状況について
- 2 専務理事の職務執行状況について
- 3 退会届等の状況について
- 4 一括契約の状況について
- 5 富山県総合防災訓練の参加について

#### 【その他】

- ・省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業
- ・青年部会への入会推薦のお願い



## ◎第1回支部長会議

◆10月25日(火)〈富山商工会議所ビル〉

理事会に引き続き、今年度初めての支部長会議を開催しました。

3月に作成された「浄化槽等被害対策マニュアル」に基づいて体制整備を進めるために、「災害時における緊急連絡網」の作成や、「緊急時に提供できる車両等報告書」について、全会員へ調査することが決まりました。



## ◎認定法に基づく県の立入検査 受ける

### ◆9月5日(火)午後<協会事務所相談室>

公益法人移行後、第2回目となる認定法第27条第1項に基づく富山県の立入検査を受けました。

これは概ね3年毎に行われるもので、富山県の検査員（今回2名）からは、公益法人としての協会の運営組織と事業活動の状況、関係帳簿、書類等について詳しく検査を受けました。

事務局からは、栗林専務理事及び職員2名が対応しました。

検査の結果は、後日、「概ね適正である。指摘事項はなし。」との回答をいただきました。

## ◎第1回 精度管理委員会

### ◆10月3日(火)午後<富山県民会館>

採水員検査の精度を高め信頼を得るために精度管理委員会が開催され、楠井委員長（富山県立大学教授）のもと、次の議題について話し合われました。

議題3の「BODクロスチェックについて」では、委員長から「年度ごとの測定値の“ばらつき”が大きいため、SSや窒素分の測定を行い、違いの原因を調査してみたらどうか」との提案があり、今後検討することになりました。

#### 【議題】

- 1 平成28年度法定検査実施結果及び採水員検査の精度管理結果について
- 2 平成29年度採水員検査の精度管理計画（案）について
- 3 BODクロスチェックについて



## 浄化槽関係要望

\* 10/27～11/7 市町村長要望 \* 11/20 県知事要望

## ◎富山県知事への要望

### ◆11月20日(月)午後

上田会長、福田副会長及び栗林専務理事の3名が、県庁を訪れ、磯部生活環境文化部長に対し説明のうえ、富山県知事への「浄化槽関係要望書」を手渡しました。

これからも浄化槽の普及促進などに向けて知事要望を続けて行きたいと考えております。

#### ●要望事項

##### 〔浄化槽の整備促進〕

1. 3省の都道府県構想策定マニュアルに基づく構想の見直しについて
2. 処理施設の特性と経済性を勘案した汚水処理施設の選択と計画的・効率的な整備のための市町村指導について
3. 市町村設置型等の合併処理浄化槽の整備促進について
4. 単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への早期集中転換について

##### 〔浄化槽の適正な維持管理等〕

5. 浄化槽台帳のより正確な整備について
6. 法定検査（第11条定期検査）の受検基数と受検率の向上について

## 7. 無管理浄化槽の撲滅について

### [補助制度の拡充]

#### 8. 単独処理浄化槽の撤去費に対する助成について

#### 9. 警報器付き送風機に対する助成について

### [その他]

#### 10. 浄化槽行政サービスの質の向上と市町村との連携について



要望書を手渡す上田会長（左）と  
受け取る磯部県生活環境文化部長さん

## ◎ 市町村長への要望

### ◆10月27日～11月7日

平成29年度の浄化槽に関する市町村長要望を行いました。訪問は昨年とほぼ同時期となりましたが、8項目4ページにわたる「浄化槽関係要望書」を、できるだけ『ご理解いただきたい』と、会長が市町村長さん等に対し直接お会いして説明し、要望してきました。

●要望先：県内全15市町村

●訪問者：上田会長、福田副会長、廣瀬副会長、栗林専務理事、各支部長

●要望事項

### [施設整備]

#### 1. 下水道等汚水処理施設整備事業計画の早期の見直しと整備について

#### 2. 市町村設置型等の合併処理浄化槽の早期整備について

### [補助制度の創設]

#### 3. 維持管理補助制度の創設について

### [公共用水域の水質保全対策]

#### 4. 単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換促進について

### [災害関係]

#### 5. 防災拠点や避難場所等への浄化槽整備について

#### 6. 災害応援協定に係る市町村と会員との連携について

### [その他]

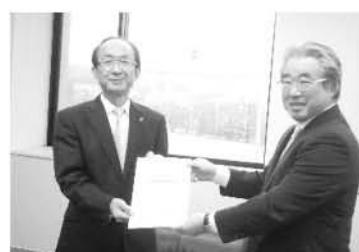
#### 7. 法定検査の受検促進及び浄化槽台帳整備への協力について

#### 8. 浄化槽の信頼向上のための警報器取り付け推進について

### （要望時の写真）



笹原 朝日町長さんと



堀内 黒部市長さんと



村椿 魚津市長さんと



上田 滑川市長さんと



舟橋 立山町長さんと

## － 10月1日 「浄化槽の日」 普及啓発活動 －

### ○街頭普及活動

#### ◆9月29日(金)朝<JR富山駅前付近>

朝7時30分から、職員が、「浄化槽の日」の普及啓発と法定検査の受検を呼びかけました。2種類の「のぼり旗」を通路両側に掲げ、出勤途上の人たちにポケットティッシュをお渡ししました。

ポケットティッシュは、水に流せる材質で、カバーには、29年6月に環境月間ポスター表彰式で当協会会長表彰を受賞された7名の作品が印刷してあります。浄化槽と協会名を知っていただく良い機会となっています。



配布した  
ポケットティッシュ

### ○ラジオの放送

#### ◆9月6日(水)～11月1日(水)

本年も、KNBラジオ放送で「浄化槽の日」をPRしました。

毎週水曜日の朝8時30分からのニュースの時間帯に放送しているラジオCMを、「浄化槽の日」バージョンに編集し放送しました。

## 受賞の誉れ

### \*平成29年度 環境保全部門功労者表彰 (平成29年10月21日開催)

富山県ごみゼロ推進県民大会で表彰式が行われ、受賞されました。

富山県知事表彰 環境保全部門功労者表彰

福田 正和 氏 (北陸フジクリーン(株))



### \*第31回 全国浄化槽大会 (平成29年10月2日開催)

ホテルグランドパレスで開催された全国浄化槽大会において表彰式が行われ、お二人の理事が受賞されました。

### ●環境省 環境再生・資源循環局長表彰

島 秀一 氏 ((株)シマキュウ)

(全浄連から推薦)



### ●国土交通省 土地・建設産業局長表彰

嶋田 仁司 氏 (日環計量管理(株))

(全国管工事業協同組合連合会から推薦)



## ◎環境出前講座を開催 ー中部支部ー

◆11月24日(金)午後〈富山県中部厚生センター2階〉

県中部厚生センターの協力のもと、中部支部が上市浄化槽協会と合同で環境講座を開催し、25名が参加しました。

第1部(「富山のさかなについて」富山県水産漁港課主任 飯田直樹氏)では、富山県の漁獲量が一番のさかなは?という質問に、「ふくらぎ? ブリ?」と言ってしまいましたが、「アジ」と聞いて、「エッ! スーパーや回転寿司にそんなに出てる! ?」と、以外な答えにオ・ド・ロ・キでした。

また、第2部(「地下水の保全について」富山県環境保全課主任 藤沢 弘幸氏)では、消雪のため冬期間に地下水が大幅に低下していることが説明されました。他県では、井戸枯れや地盤沈下が起きているそうです。

消雪装置は、富山県民にはとても必要なものだと思うのですが、工事するまでには色々な調査や準備が必要で、簡単にできるものではないことを初めて知りました。



会場内にパネルの展示



会場風景

## ☆富山県の浄化槽管理士の年齢は?☆

◎11月1日、2日と開催した浄化槽管理士技術講習会時のアンケートに受講者177名のうち、113名の方に回答をいただきました。

浄化槽管理士の年令は、全国平均が55.9才。富山県はこのアンケート結果を見ると、40・50才代の方が6割近くもおられることがわかりました。

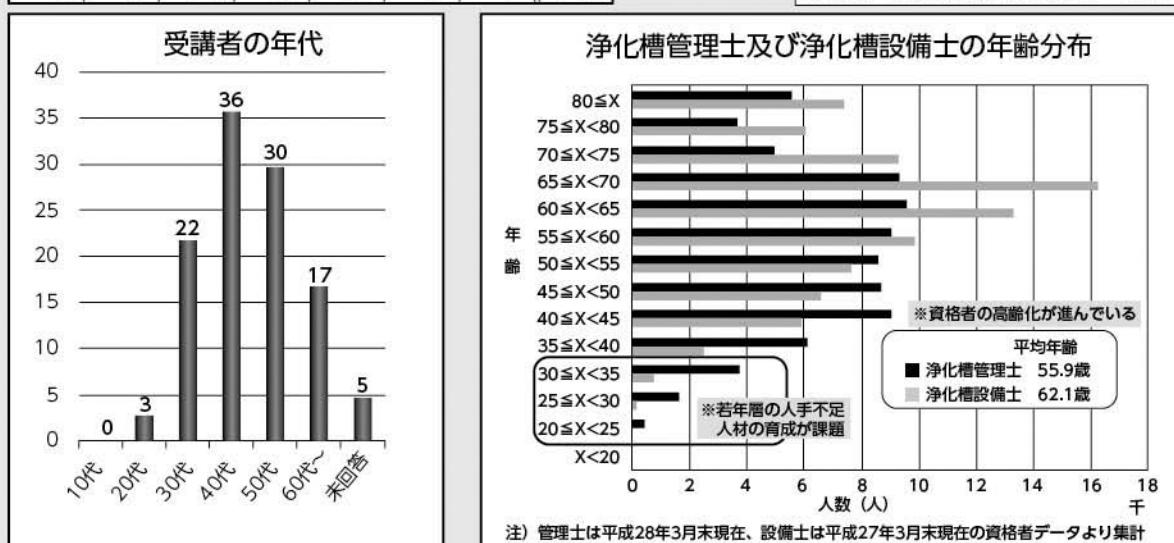
### ◆お住まいはどこですか?

富山	高岡	魚津市	氷見市	滑川	黒部	砺波市	小矢部	南砺	射水	上市	立山	入善	朝日	未回答	合計
32	15	9	4	1	6	6	3	3	7	2	7	4	2	12	113

### ◆年齢は?

10代	20代	30代	40代	50代	60代~	未回答	合計
0	3	22	36	30	17	5	113

(公財)日本環境整備教育センター資料



# 平成29年度浄化槽管理士技術講習会を開催

## ◎浄化槽管理士技術講習会(県委託事業)

平成29年度浄化槽管理士技術講習会(県委託事業)を次のとおり開催しました。受講者は、高岡・富山会場合わせて177名で、ほぼ昨年並みでした。

今回の講習会は、浄化槽管理士の方々の希望を踏まえ、日頃入手しにくい新型浄化槽やエアーポンプの情報を探るメーカーから直接聞くこととし、(株)鶴見製作所の実物ポンプや、アムズ(株)のカットモデルを見ながら講習ができ、大変有意義な講習会となりました。

また、賛助会員の(株)日環商事、日星産業(株)、カマタニ(株)、(株)鶴見製作所が保守点検商品を展示されました。



講習会場風景

●————ご挨拶いただいた方々————●



県 九澤班長



上田会長



廣瀬副会長



## 〈日時・場所・受講者数〉

・高岡会場:11月1日(水)アイザック小杉文化ホール ラポール 89名(38社)

・富山会場:11月2日(木)富山テクノホール 88名(37社)

## 〈演題・講師〉(両会場とも)

・「浄化槽行政の動向について」 富山県環境政策課主任 木原 忍 氏

・「ポンプの特徴と維持管理について」 (株)鶴見製作所営業推進課副長 吉井 寛 氏

・「アムズ浄化槽の構造・機能、維持管理、清掃のポイント」 アムズ(株)工場生産品支援グループ

専任課長 糸尾 寿紀 氏

●————講師の方々————●



県 木原主任



(株)鶴見製作所 吉井氏



アムズ(株) 糸尾氏



カットモデルでの説明風景



展示品を見学する受講者

# 浄化槽の緊急点検で富山県総合防災訓練に参加しました。

## ◆9月30日(土)午前<富山市アルペンスタジアム会場及びその周辺>

平成27年11月26日に富山県と締結した災害協定に基づき、今年は富山市アルペンスタジアム会場において、上田会長、島富山支部長ほか協会検査員、支部会員の計8名が参加し、呉羽山断層帯を震源とするマグニチュード7.4の地震による被害を想定した「浄化槽の緊急点検等の訓練」を実施しました。

昨年度は一般家庭の浄化槽を対象として実施しましたが、今回は、訓練会場周辺の多くの一般家庭が接続している農業集落排水処理施設2基の浄化槽の緊急点検を実施。使用の可否を判断し、併せて被害の実態調査等を行いました。



## トピックス

環境情報より（平成29年11月11日号）

埼玉県

### 浄化槽の架空“保守点検”で改善命令

#### 不審抱いた管理者が監視カメラ設置

埼玉県は11月6日、浄化槽の保守点検を実施したように装い記録票のみ作成していたとして、深谷市の浄化槽保守点検業者「(有)藤沢環境保全」および同社浄化槽管理士1名に対し、浄化槽法第12条第2項(保守点検又は清掃についての改善命令等)に基づく改善命令を行ったと公表した。

浄化槽の法定検査(11条)で同一の指摘事項を2年連続で受けた浄化槽管理者が、保守点検作業に不審を抱き、監視カメラを設置したことにより発覚した。県は同事案を受け、県内の全保守点検業者に通知を発出、「浄化槽法に基づく保守点検の技術上の基準に従って保守点検を実施する」よう求

めた。

一方、通知を受けた一部の保守点検業者からは自社に対する処分かと問い合わせも来ているとのことで、県水環境課は「違反した場合は浄化槽法の許可だけでなく、一般廃棄物処理業、産業廃棄物処理業など、廃棄物処理法の許可も取り消しとなる可能性がある。全国的に見ても処分例は少ないと思うが厳格に対応する。信頼の失墜など改善命令による事業への影響は大きい。社員1人の違反であっても会社として責任を取らせる」と厳しくコメントした。

# 青年部会活動

## ◎「こども環境教室」

青年部会が、浄化槽の役割に理解を深め、水を大切にする気持ちを育んでもらおうと、県内の小学校において「こども環境教室」を行いました。

パワーポイント（「トイレの水はどこに流れるの？」）を用いて、私たちが暮らしの中で使う水について説明し、浄化槽でキレイにする仕組みや水の大切さをお話しました。

講義の後は、ミニチュアモデルで浄化槽の構造を勉強したり、顕微鏡で動く微生物を観察しました。

子供たちは、生きている微生物に大変関心を持ち、また水環境を守るために身近にできることに興味を示し、節水やゴミ拾い等を積極的にしていきたいと話してくれました。終了後に、子供たちに「下敷き」と「水切ネット」を配布しました。

### 【平成29年度「こども環境教室」を行った学校】

- ・7月19日(水) 小矢部市立東部小学校4年生 17名
- ・9月 8日(金) 氷見市立上庄小学校4年生 18名
- ・10月23日(月) 小矢部市立蟹谷小学校4年生 27名

「こども環境教室」に関するお問い合わせ及びお申込みは、  
当協会事務局までどうぞ



氷見市立上庄小学校での様子

【対象】富山県内の小学校4年生、5年生

【講師】（公社）富山県浄化槽協会青年部会

【費用】無料

【内容】① パワーポイントを使って：水の行方や汚れなどのクイズを一部に入れ、水への関心を高めます。

② 顕微鏡を使って：浄化槽の中で働く生き物を顕微鏡で観察し、どんな生き物が水をきれいにしてくれるかを学びます。

③ 浄化槽ミニチュアモデルを使って：生活排水を下水道などに処理する浄化槽のミニチュアモデルを使って、浄化槽の仕組みを学びます。

【申込方法】開催希望日の1ヶ月前までに、当協会までお申込みください

電話：(076) 421-1208 FAX: (076) 421-1495



## こども環境教室



## ◎県外視察研修

◆11月21日(火)、22日(水)

◆視察先：千葉県 花見川終末処理場、サッポロビール園

（一社）千葉県環境保全センター青年部会との情報交換会

青年部会員11名が、千葉県の施設へ視察研修に行ってきました。

併せて、（一社）千葉県環境保全センターの青年部会と普及啓発活動について情報交換を行い、こども環境教室やフェスティバルの出展などに関する大変有意義な情報を得ることができました。



花見川終末処理場にて

## ◎黒部市「アクアパークフェスティバル2017」に出展

### ◆9月3日(日)〈黒部市浄化センター及びきららの滝〉

浄化槽をもっと良く知つてもらおうと、青年部会が出展しました。

浄化槽のミニチュアモデルを使って仕組みを紹介したほか、単独から合併処理浄化槽への転換チラシを配布して、浄化槽をPRしました。

ブースへの来場者は40人程でしたが、ミニチュアモデルに「これは何?」と多くの参加者が足を止めました。

※黒部市では、「黒部市維持管理協議会」の会員と、保守点検、清掃、法定検査の一括契約をしている設置者に対し、費用の一部を助成しています。(地域等、助成に条件がありますので、保守点検業者にお問い合わせください。)



出展の様子

## ◎「とやま環境フェア2017」に出展!

### ◆10月21日(土)、22日(日)〈富山テクノホール〉

水環境の保全に役立っている浄化槽の仕組を学び、そのきれいにする力「微生物」を実際に観察し、水の大切さを学んでもらおうと、青年部会の協力のもと出展しました。

浄化槽のミニチュアモデルで浄化槽の仕組みを紹介したほか、体験コーナーでは浄化槽で働く「微生物」を顕微鏡とパソコン画面を使って観察してもらいました。

来場者は、例年より若干少なかったものの、相変わらず“微生物”は人気があり、何度も訪れる親子もいました。

(ブース来場者約500名)



顕微鏡で動く微生物を観察

## トピックス

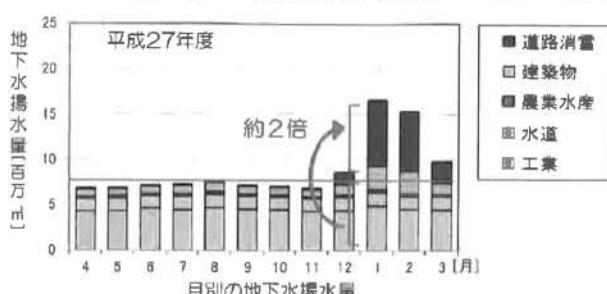
### “地下 水 の 守り人” — とやまの地下水を守ろう! —

富山県下には消雪設備が約4000カ所もあり、年々道路や駐車場などで増えています。

この消雪設備は、実は散水量が多すぎると水が路面に溜まり、歩行者への迷惑や貴重な地下水の無駄になります。

このため、現在168名の「地下水の守り人」が、消雪設備の節水や名水・湧水の保全、地下水に関する環境教育に取り組んでおられることをご存知ですか。

県と(公財)とやま環境財団では、平成24年度から「地下水の守り人」の養成や登録を行っておりまます。平成30年度に新たに募集を行う予定とのことなので、お気持ちのある方は、是非ご応募ください。



制御盤や散水ノズルの調整

※環境講座 富山県環境保全課「地下水の保全について」資料から

## 平成30年度浄化槽推進関係予算（案）の概要

## 1. 浄化槽整備のための国庫助成

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために、市町村等が実施する浄化槽整備を推進するとともに、地球温暖化対策に資する浄化槽の省エネ改修に対して国庫助成を行う。

○循環型社会形成推進交付金（浄化槽分）	8,421百万円
	【29年度補正 1,000百万円】
○二酸化炭素排出抑制事業費等補助金（浄化槽分）	1,600百万円

【単位：百万円】

予算事項	平成29年度予算額	平成30年度予算(案)	対前年度比
循環型社会形成推進交付金 二酸化炭素排出抑制事業費等補助金	(9,039)※ 8,421 1,000	(8,916) 8,421 1,600	(98.6%) 100.0% 160.0%
計【30年度】	(10,039) 9,421	(10,516) 10,021	(104.7%) 106.3%
循環型社会形成推進交付金 【補正】	1,000 ※28年度補正	1,000 ※29年度補正	100.0%
計【補正+30年度】	(11,039) 10,421	(11,516) 11,021	(104.3%) 105.7%

※上段（ ）は、内閣府〔沖縄〕、国土交通省〔北海道、離島〕計上分を含む額

## 上記の他、

## ○地方創生推進交付金（内閣府に計上） 1,000億円の内数

地方版総合戦略の本格的な推進に向けた地方創生の深化のための交付金。

本交付金のうち、「地方創生汚水処理施設整備推進交付金」は、(旧)地域再生基盤強化交付金（環境省、農林水産省、国土交通省所管の汚水処理施設等を総合的に整備する汚水処理施設整備交付金等）から再編され、平成28年度に創設されたもの。

## 2. 国庫助成の内容

## 〈循環型社会形成推進交付金〉

## ○環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業【個人設置型、市町村設置型】

環境配慮型浄化槽（省エネ化、コンパクト化、再生材使用、ディスポーザ対応）を推進するとともに、単独転換促進施策、及び強靭なまちづくり施策と組み合わせて総合的に推進する。（助成率1/2）

## ○公的施設単独処理浄化槽集中転換事業【市町村設置型】

単独転換促進の指導を行う立場である地方公共団体が所有する単独処理浄化槽が、全国で約5万基近く残存しているため、市町村設置型の浄化槽整備を行っている市町村がその単独処理浄化槽を集中的に撤去し、合併処理浄化槽へ転換する費用について助成を行う。（助成率1/3、1/2）

## ○改 市町村設置型事業の基数要件見直しによる自治体負担の軽減【市町村設置型】

交付申請時に年間整備基数の要件（20基以上）を複数年度の事業計画の審査に基づき交付の可否を確定するものに改める。具体的には、①地域計画の計画期間（5～7年程度）中に100世帯（過疎地域においては50世帯）以上を対象にする浄化槽整備事業である場合（地域計画において期間及び目標を定めた計画が定められる等目標達成に確実性が認められるもの）、又は、②現に市町村設置型事業において100世帯以上を対象に浄化槽による汚水処理サービスを提供していて浄化槽を追加で整備する場合とする。

※（財政当局と調整中）

### 改 公共管理事業の推進による単独転換加速化【個人設置型】

浄化槽による汚水処理の信頼性を確保するため、個人設置型事業のうち相当程度の公共性(市町村や住民組織等による公的管理)が認められる場合、基準額を市町村設置型の事業と同額に引き上げを図る。  
※(財政当局と調整中)

### 〈二酸化炭素排出抑制事業費等補助金(浄化槽分)〉

#### ○省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業

51人槽以上の既設合併処理浄化槽にかかる、省CO<sub>2</sub>型の高度化設備(高効率プロワ、インバーター制御装置等)の導入・改修及び、旧構造基準の浄化槽(プロワを使用するものに限る)の中でも101人槽以上の既設合併処理浄化槽の交換については、構造や本体のコンパクト化からエネルギー効果の高いと見込まれる浄化槽について、地方公共団体や民間団体に対し補助する。(補助率1/2間接補助)

### 3. 浄化槽の整備推進にかかる行政経費

#### ○我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 350百万円の内数

「2030年までに、未処理の排水の割合半減」、「2030年までに、排水処理技術など、開発途上国における水と衛生分野での国際協力と能力構築支援を拡大」等の持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するため、浄化槽等の日本発の優れた廃尿処理技術の国際展開を図る。

#### ○浄化槽指導普及事業費

##### ・浄化槽整備促進・適正管理調査費

30百万円

(18百万円)

PFI方式をはじめとした民間活用、民間の営業力やノウハウを活用した事例収集・分析等を行うとともに、浄化槽の把握や法定検査の受検率向上に関する取組の事例収集・分析等を行い、単独浄化槽の転換や維持管理体制の強化に関する支援を行う。また、集合処理から個別処理への転換に検討している自治体についてヒアリングを実施し、転換にあたっての課題等について検討を行う。

##### ・浄化槽システム強靭化事業費

(12百万円)

災害復旧対応時に役立つ浄化槽台帳システムの新たな利活用方法や浄化槽システム全体の災害対応力強化について調査検討を行うとともに、浄化槽の関係団体、維持管理業者における情報ツールのICT化の促進策の調査検討を行う。

#### ○浄化槽対策推進費

##### ・浄化槽整備推進費

33百万円

(30百万円)

浄化槽の機能や特性に関する適切な認識を浸透する活動や浄化槽整備事業の整備促進効果を高めるソフト事業を実施し、浄化槽の整備促進、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の推進を図り、健全な水環境を確保する。

##### ・浄化槽管理士国家試験費

(3百万円)

### 4. その他

#### 〈東日本大震災復興交付金として復興庁計上〉

#### ○低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業

東日本大震災により被害のあった地域における、低炭素社会対応型浄化槽(市町村設置型・個人設置型)及び通常型浄化槽(個人設置型)の迅速な整備について財政支援を行い、被災地の生活排水対策の早期回復を図る。  
(平成32年度まで継続)

※内閣は2018年1月に招集される通常国会にて予算案の成立を目指します。

## 都道府県別汚水処理人口普及状況（平成28年度末）

-環境省HPより-

都道府県名	汚水処理人口 普及率	順位	総人口 (千人)	汚水処理 人口 計 (千人)	下水道 (千人)	農業集落 排水施設等 (千人)	合併処理 浄化槽 (千人)				コミュニティ ・プラント (千人)
								うち 浄化槽市町村 整備推進事業 等分 (千人)	うち 浄化槽設置 整備事業分 (千人)	うち 左記以外分 (千人)	
北海道	95.2%	9	5,346	5,089	4,857	69	163	54	68	41	0
青森県	78.1%	40	1,314	1,025	777	117	131	13	41	78	0
岩手県	79.8%	34	1,270	1,013	737	109	166	40	98	28	2
宮城県	90.6%	17	2,310	2,092	1,861	71	154	36	79	39	6
秋田県	86.1%	25	1,022	880	654	109	118	23	68	27	0
山形県	91.2%	16	1,112	1,014	845	82	87	19	45	23	0
福島県	81.8%	-	1,821	1,490	965	122	403	40	230	133	0
茨城県	83.3%	31	2,952	2,460	1,809	162	480	12	200	268	10
栃木県	85.5%	26	1,988	1,699	1,299	89	310	8	238	64	1
群馬県	79.3%	37	1,994	1,581	1,060	124	373	23	228	122	25
埼玉県	91.2%	15	7,346	6,703	5,896	96	709	24	192	494	1
千葉県	87.5%	20	6,285	5,498	4,622	51	817	11	303	503	8
東京都	99.8%	1	13,570	13,540	13,508	2	28	4	8	15	2
神奈川県	97.9%	4	9,159	8,970	8,848	3	119	3	44	72	0
新潟県	86.6%	22	2,289	1,982	1,693	167	122	16	45	61	0
富山県	96.3%	8	1,072	1,033	903	92	34	1	20	13	3
石川県	93.6%	11	1,150	1,076	956	65	52	9	14	28	3
福井県	95.2%	10	792	753	623	92	38	3	27	8	0
山梨県	81.3%	33	840	683	549	16	112	8	46	59	6
長野県	97.6%	6	2,118	2,067	1,761	185	120	17	80	23	1
岐阜県	91.6%	13	2,059	1,886	1,551	119	212	9	129	75	4
静岡県	79.6%	35	3,747	2,984	2,345	31	594	15	355	224	14
愛知県	89.8%	18	7,526	6,761	5,811	158	780	24	249	507	11
三重県	83.5%	30	1,836	1,533	964	101	465	19	229	217	3
滋賀県	98.6%	3	1,418	1,399	1,267	93	39	0	14	25	0
京都府	97.8%	5	2,563	2,507	2,412	44	50	11	25	14	0
大阪府	97.4%	7	8,852	8,626	8,451	1	174	4	30	140	0
兵庫県	98.7%	2	5,591	5,520	5,183	168	104	8	65	30	66
奈良県	88.8%	19	1,376	1,221	1,092	8	119	4	34	81	3
和歌山県	62.2%	45	981	610	259	47	303	14	180	109	0
鳥取県	93.1%	12	572	532	398	100	34	5	14	15	0
島根県	78.6%	39	693	545	325	109	106	29	46	31	4
岡山県	85.2%	27	1,922	1,638	1,275	46	316	19	203	94	0
広島県	87.1%	21	2,849	2,482	2,096	56	316	13	150	153	14
山口県	86.2%	23	1,401	1,208	910	68	230	8	139	83	0
徳島県	58.9%	46	760	448	135	21	284	14	159	111	8
香川県	75.3%	43	994	748	439	17	292	15	228	49	1
愛媛県	77.2%	41	1,400	1,081	741	43	294	25	165	104	3
高知県	76.2%	42	727	554	273	22	257	14	141	102	1
福岡県	91.5%	14	5,116	4,683	4,146	55	470	56	288	126	12
佐賀県	82.0%	32	835	684	493	67	123	38	65	20	1
長崎県	79.5%	36	1,384	1,100	855	50	190	17	131	41	5
熊本県	86.1%	24	1,790	1,541	1,208	74	258	31	177	50	0
大分県	74.9%	44	1,171	878	585	36	256	11	165	80	1
宮崎県	84.8%	29	1,113	944	653	51	240	20	186	34	0
鹿児島県	79.0%	38	1,655	1,307	688	43	572	49	402	120	5
沖縄県	85.2%	28	1,462	1,245	1,044	67	134	13	5	116	0
全 国	90.4%	-	127,540	115,314	99,824	3,518	11,747	848	6,048	4,851	225

- (注) 1. 整備人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。  
 2. 平成28年度調査は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な市町村（相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）を除いた値を公表している。  
 3. 福島県については、上記市町村以外でも東日本大震災に伴う避難の影響により人口が流動していることに留意する必要がある。

## 富山県の汚水処理及び下水道処理人口普及状況（平成28年度末）

-富山県HPより-

(単位:千人)

市町村名	行政人口	下水道 処理人口	下水道処理 人口普及率 (%) (()内H27年度末)	類似施設 処理人口	処理人口合計	汚水処理 人口普及率 (%) (()内H27年度末)
富山市	417.6	383.9	(91.8) 91.9	29.9	413.8	(99.1) 99.1
高岡市	173.4	158.7	(91.2) 91.5	6.7	165.5	(95.2) 95.4
魚津市	42.6	32.1	(74.4) 75.2	9.0	41.0	(95.8) 96.3
氷見市	48.9	29.3	(59.6) 60.0	15.0	44.3	(90.1) 90.6
滑川市	33.4	24.4	(70.6) 73.0	6.2	30.5	(90.4) 91.5
黒部市	41.7	26.1	(62.3) 62.6	13.1	39.3	(94.0) 94.1
砺波市	49.1	31.9	(63.8) 65.1	11.2	43.1	(87.2) 87.9
小矢部市	30.6	19.0	(60.5) 62.0	6.4	25.4	(81.5) 82.7
南砺市	52.2	44.4	(84.8) 84.9	7.7	52.0	(99.5) 99.6
射水市	93.7	81.7	(87.0) 87.2	11.9	93.6	(99.9) 99.9
市計	983.4	831.5	(84.2) 84.6	117.0	948.5	(96.2) 96.5
舟橋村	3.0	3.0	(100.0) 100.0	0.0	3.0	(100.0) 100.0
上市町	21.2	18.5	(85.1) 87.2	2.4	20.9	(97.3) 98.6
立山町	26.5	22.0	(81.4) 82.9	2.6	24.6	(92.5) 92.8
入善町	25.4	18.9	(74.0) 74.3	6.5	25.4	(99.9) 99.9
朝日町	12.4	9.1	(69.4) 73.3	1.1	10.2	(79.3) 81.8
町村計	88.6	71.5	(79.1) 80.7	12.6	84.1	(94.1) 94.9
合計	1,071.9	903.0	(83.7) 84.2	129.6	1,032.6	(96.1) 96.3

・類似施設：農村下水道、コミュニティ・プラント、合併処理浄化槽等

・表の数値については、四捨五入を行ったため、合計等が合わないことがある。

## 新年の抱負を少し…（11条検査について）

富山県生活環境文化部環境政策課

廃棄物対策班長 九澤 和英



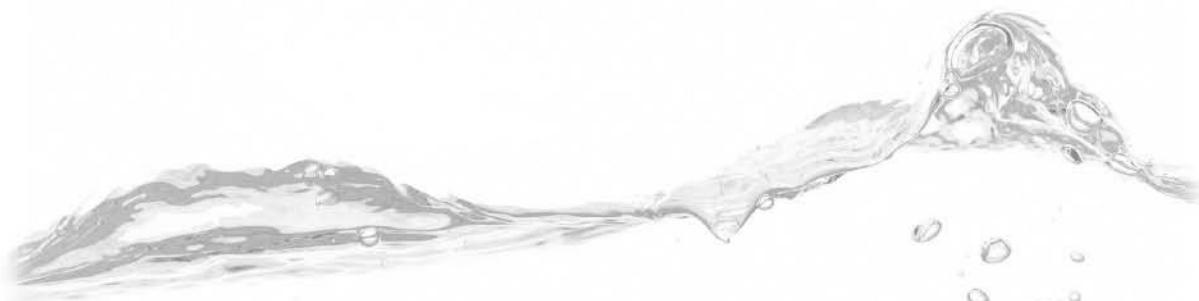
新年おめでとうございます。公益社団法人富山県浄化槽協会の皆様には、浄化槽の普及と適正管理の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。本年も引き続きご支援をお願いいたします。

さて、本県においては、いわゆる11条検査（年1回の法定検査）受検率の向上が課題の一つです。県内の受検率は31.4%（28年度）で全国の39.4%（27年度）と比べて8.0ポイント低く、全国レベルに引き上げるには検査数（28年度は14,643件）を年間1万8千件にまで増加させる必要があります。

一方で法定検査機関（浄化槽協会）の検査員による検査は年間13,119件（28年度）であり、差し引き5千件については「採水員」検査の比重を高めていく必要があると考えております。

ご存知のとおり、10人槽以下の浄化槽については、法定検査機関から指定された採水員が排水を採取・分析し、BOD値などに問題がなければ検査に合格したと認められます。少数ですが、県内でも保守点検業者が採水員として保守点検時に採水している事例があり、こうした仕組みが拡大・定着すれば受検率の向上、ひいては浄化槽の信頼性確保につながるだけでなく、その手数料は新たな収入になります。実際には、検査に対する負担感軽減やインセンティブ付与など解決すべき点はありますが、今後、皆様とも相談しながらチャレンジしていくつもりですので、よろしくお願ひいたします。

今年は戌年、皆様にとって“ワン”ダフルな年になりますようお祈りいたします。



### 富山県・富山市からのお知らせ

法第11条検査の未受検者に対し、富山県又は富山市保健所は「浄化槽法第11条検査の受検について」を順次送付し、法定検査の受検推進を行っています。

設置者からお問い合わせなどありましたら、ご説明等していただきたくご協力を願いいたします。

ご協力  
よろしくお願い  
します。



## 青年部会視察研修を終えて

青年部会幹事 山内 大輔

(黒部クリーン株式会社)



青年部会視察研修会として、11月21日から1泊2日の行程で千葉県へ行ってまいりました。今回、視察先に千葉県を選ぶことになったのは、

(一社) 千葉県環境保全センター青年部会の皆様が、10月20日に富山県へ来県し、情報交換交流会を開催したのがきっかけでした。当協会青年部が行っている「こども環境教室」について興味を持っておられたので、事業内容などの紹介をさせていただきました。その際に、千葉県環境保全センター青年部会さんの活動紹介もしていただき、紹介の中で自己啓発に繋がる講習を多く行っているということを聞き、より具体的な活動内容を知りたいということと、青年部会員数が多く団結力があるとのことなので、その理由をお聞きしたく、千葉県へ行くことになりました。

研修当日は、冬の関東特有の乾燥した冷たい風が吹いていましたが、晴天に恵まれ気持ちよく回ることが出来ました。

千葉市内には2つの終末処理場がありますが、そのうちの1つの花見川第2終末処理場を視察させていただきました。処理業態は2つの処理場を併用する形で13市町（12市、1町）、管渠延長166.4km、計画処理水量311,900m<sup>3</sup>/日、敷地内に焼却炉まで完備というスケールの大きさに驚きました。また、処理水は、東京湾に面しているにも関わらず法的規制の関係から東京湾に直接放流できないため、一旦花見川へ放流して東京湾まで流しているという話もお聞きすることができ大変勉強になりました。

視察後は、サッポロビール千葉工場へ行き、製品づくりのこだわりと歴史を、肌と喉で感じ、他業種ではありますが刺激を受けた工場見

学となりました。

夜には千葉県環境保全センター青年部の皆様と情報交換懇親会が、当協会青年部11名と千葉県環境保全センター青年部11名の総勢22名で開催されました。お話では、千葉県では浄化槽設置基数が571,299基、下水道普及率72.8%という状況でした。富山県と比べると浄化槽の割合が多く、中には下水道普及率0%の市町がいくつかあり、人口が多くても下水道整備事業の進め方に各県で大きく違いがある事が分かり、今後の浄化槽普及活動への考え方を改める良い機会となりました。また、関東の青年部会さんと北海道の青年部会さんが自社発展や自己啓発に繋がる合同研修会を開催しているとお聞きしたので、機会があれば参加してみたいと思いました。

最後になりますが、今回の視察研修を通して様々な経験と素敵なお会いを得る事ができましたのも、ひとえに（公社）富山県浄化槽協会や会員の皆様のご理解とご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

この度は誠にありがとうございました。



全員で“最高”



## 浄化槽検査員になって

公益社団法人富山県浄化槽協会

検査員 大井 友之



私は、検査員になる前は、計量証明事業所に勤めていました。

その時と検査員になってから一番大きく違うことは、夜間作業がないことです。

夜間作業は、体への負担が大きくとても大変でした。その中でも一番大変だったのは新幹線の騒音・振動測定でした。業務の内容は、1週間で1日毎に10 [km/h] ずつ増やしていき、その往復の騒音・振動を測定するという内容で、テスト走行は各速度で1回ずつしか行われず、データはその場で解析する。しかも、日中は他の音が混じる可能性があったので、夜間行うというものでした。測定は、2月だったので気温は0°Cでした。まず、測定の2時間前に現場に集合して、準備を入念に行い、測定に備えました。ほとんどが待機時間でしたが、騒音・振動測定なので暖房器具が一切使えず、テスト走行は整備完了次第発車する予定で合図は電話でするという事だったので、いつ発車するかもわからない状況でした。測定は一瞬の事でしたが、往復なので2回測定する必要があります。1回目が終わってからもすぐに次の測定ができるように準備して待機していなければなりませんでした。そ

して、測定が終わるのはいつも早朝で、測定が終わってからもその場でデータを解析し、ある程度まとめる必要がありとても大変な業務でした。

現在の法定検査では夜間の作業はありませんが、浄化槽のマンホールを開けて検査をする際に転落などの労働災害に気をつけなければなりません。浄化槽の中に転落すれば中の設備を損傷するだけでなく、大けがにつながる可能性もあります。

私は、現在一般家庭の小型合併槽を多く回っています。その中で、一番危険だと感じるのは丸型の2重スラブの浄化槽です。このタイプは、足場が少なく立つことすらままならない物があります。足場が悪いと安全に作業できずミスにつながることもあります。実際に、一度上げたマンホールを落としそうになったり、工具を落としそうになったりと、ヒヤッとした場面が何度かあります。

これからは、自分の培ってきた知識や経験を最大限に活かし、安全第一で法定検査に臨んでいきたいと思います。

# 全淨連／教育センター／東海北陸ブロック協議会

## ◎第31回「全国浄化槽大会」開催される

### ◆10月2日(月)〈ホテルグランドパレス(東京)〉

「浄化槽の日」を記念して浄化槽の健全な普及促進を図り、生活環境の保全、向上に寄与することを目的に「第31回全国浄化槽大会」が開催されました。

当協会の上田会長、粟林専務理事等、全国から約700名が参加し盛大に開催されました。

式典では、5項目の「浄化槽適正整備推進決議」の採択、浄化槽功労者の表彰が行われました。その後の懇親会には、中川雅治環境大臣など多くの国会議員が出席され、浄化槽への一層の整備促進に期待を述べられました。

表彰式では、当協会理事

・島秀一氏が

“環境省 環境再生・資源循環局長表彰”

・嶋田仁司氏が

“国土交通省 土地・建設産業局長表彰”

を受賞されました。



大会風景(全淨連HPより)

## ◎「予算・税制等に関する政策懇談会」—全淨連HPより—



### ◆11月9日(木)〈自由民主党本部7階〉

自民党国會議員による予算・税制・一般政策への要望聴取と意見交換が行われました。山口泰明議員をはじめ18名の議員が出席され、全淨連も環境関係団体として出席し、上田勝朗 全淨連副会長(当協会会長)が要望を行いました。

## ◎全淨連 北陸地区協議会各県会長会議の開催

### ◆11月21日(火)、22日(水)〈三条市 燕三条地場産業振興センターほか〉

全淨連の佐々木専務理事をお招きし、北陸地区協議会各県会長会議を開催しました。新潟県、石川県、福井県、そして当協会からは上田会長と粟林事務局長が出席しました。

佐々木専務理事からは、環境省など国の動きや省エネ型大型浄化槽システム推進事業の進捗状況など報告があり、その後、議題に沿って情報交換等を行いました。適宜、佐々木専務からの回答・説明があり、活発に行われました。

平成30年度及び31年度の次期役員については、上田会長が引き続き北陸地区協議会の協議会長を務めることになりました。



## ◎(公財)日本環境整備教育センター

### 第31回全国浄化槽技術研究集会に参加

◆10月10日(火)、11日(水)〈岡山市 ホテルグランヴィア岡山〉

第31回の今年は、岡山市で、初日に式典・研究発表、2日目は浄化槽行政担当者研究会と浄化槽検査員研究会が開催されました。全国から両日で延べ約1,420名の参加があり、当協会からも上田会長はじめ6名が参加しました。研究発表では、モニターカメラ等を用いた浄化槽の目視点検項目の数値化や、モニターカメラ等を用いた長期観測システムなど、興味深いものがありました。



平成30年度の開催地は、名古屋市と近いので、多数参加されますようお願いします。

## 浄化槽法指定検査機関

### ◎東海北陸ブロック協議会研修会に出席

◆11月15日(水)、16日(木)

〈福井市 ホテルフジタ福井〉

浄化槽法指定検査機関東海北陸ブロック協議会研修会が、福井市で開催されました。

環境省・浄化槽推進室の多田環境専門員と福井県医薬食品・衛生課の内田課長をご来賓にお迎えし、東海北陸7県9指定検査機関等から47名、また関東甲信越ブロック協議会から5名の方の参加をもとに開催されました。当協会からは栗林専務理事と検査員2名が出席しました。

1日目は、環境省と福井市役所等による講演、その後情報交換などを行い、実りある研修会となりました。また、並行して役員連絡会が開催され、各機関から事前に提出された議題について熱心に意見交換がされました。

2日目は、トンネル内に設置されている「越前北部地区漁業集落排水処理施設」の視察を行いました。

平成30年度は、富山県が当番県です。



小田桐会長の挨拶



越前町集落排水事業用マンホール

## 平成29年度省エネ型大型浄化槽 システム導入推進事業の進捗状況

11月30日現在、全国で143件（うち富山県は8件）が承認されております。

事業は、来年度以降も継続しますので、補助金の活用を設置者へご提案していただき、ご活用くださるようお願いします。

詳しくは全浄連HPをご覧ください。

※富山県の補助承認件数 8件

ゴルフ場1件、自治体3件

宿泊施設2件、商業施設1件

病院1件

## 会長訓示

富山県浄化槽協会

(平成30年の行動目標)

☆健康管理・安全第一で笑顔の職場

☆自分を磨き、技術と人間性を高める

☆発想の転換・創意工夫で業務改善

☆報告・連絡・相談で  
情報を生かした積極行動

☆浄化槽のイメージアップ

## お知らせ

### ◎会員情報

#### ◆退会業者

所属業種	会員名	住所
保守点検業	(有)富山エンジニア	富山市
工 事 業	(有)武田工務店	高岡市
〃	藤森工業(株)	砺波市
〃	ダイエー設備工業(株)	富山市
〃	幸塚汽力工業(株)	高岡市

(敬省略)

### ◎浄化槽の一括契約状況 (H29.4月～12月)

高岡市： 7件 (H28までの累計： 206件)

黒部市： 11件 (H28までの累計： 184件)

氷見市： 0件 (H28までの累計： 129件)

※保守点検・清掃・法定検査を一つの契約で行い、適正な維持管理と法律を守ることにつなげる「一括契約」をこれからも推進しましょう！

### ◎検査手数料の口座振替キャンペーン実施中

法定検査受検者の利便性について配慮した口座振替キャンペーンは、平成28年度の申込み件数395件で、今年度も引き続き行います。

口座振替を申込まれた一般住宅の方には、クオカードをプレゼントしています。

**是非、お申込みください！**



### ◎指定採水員研修会の開催

指定採水員の業務内容の確認と資質向上を図るため、指定採水員研修会を開催いたします。

詳細は、直接、事業所へご案内いたしますので、1事業所1名以上は必ず受講してくださいよう、お願いいたします。

開催日	平成30年2月19日(月) 13時30分から
会 場	富山テクノホール

### 新職員の紹介

平成29年11月から検査課に勤めることになりました。毎日、検査員に同行して勉強中です。

どうぞよろしくお願ひします。



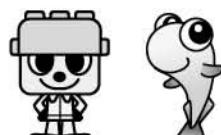
検査補助員：岩田 修平  
趣味：野球  
好きな食べ物：ラーメン

### ◎今後の開催予定 (総会、理事会等)

平成29年度 行政との情報交換会及び新春懇親会  
平成30年1月31日 (水)

平成29年度 第2回定期理事会  
平成30年3月20日 (火)

平成30年度 第6回定期総会  
平成30年6月 5日 (火)



### 編集後記

明けましておめでとうございます。

上田会長は、「仕事始め」に当たり、5つの「行動目標」を訓示されました。その1つに「発想の転換・創意工夫で業務改善」があります。この機関誌もマンネリ化しないように、早速、少し構成を変えてみました。これからもどうすれば皆さんが読みやすいのか、どんな記事が望まれているのか、等々探りながらお届けしたいと思っています。

皆様のご多幸とご健康を祈願しまして、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## ●協会のあゆみ

●第82号より続く

年月日	内 容	会 場
平成29年		
7月19日	こども環境教室①	小矢部市立東部小学校
7月24日	黒部市合併処理浄化槽適正維持管理推進協議会総会	黒部市
7月28日	第2回青年部会幹事会	富山商工会議所ビル
7月29日	富山湾ごみ削減キャンペーン	富山新聞広告
8月 2日	全浄連常任理事会	東京都
8月 4日	機関誌「浄化槽とやま」第82号発行	
8月31日	第3回青年部会幹事会	富山商工会議所ビル
9月 3日	黒部市「アクアパークフェスティバル」	黒部市
9月 5日	認定法に基づく県の立入検査	事務局相談室
9月 5日	環境とやま県民会議幹事会	富山県民会館
9月 7日、8日	東海北陸ブロック協議会検査員連絡会	加賀市
9月 8日	こども環境教室②	氷見市立上庄小学校
9月29日	「浄化槽の日」JR富山駅前街頭啓発	JR富山駅前
9月30日	富山県総合防災訓練参加	富山市アルペンスタジアム
10月 2日	第31回全国浄化槽大会	東京都
10月 3日	精度管理委員会	富山県民会館
10月10日、11日	第31回全国浄化槽技術研究集会	岡山市
10月18日	第4回青年部会幹事会	富山商工会議所ビル
10月21日	富山県ごみゼロ推進県民大会	富山テクノホール
10月21日、22日	とやま環境フェア2017	富山テクノホール
10月23日	こども環境教室③	小矢部市立蟹谷小学校
10月25日	第2回臨時理事会	富山商工会議所ビル
10月25日	第1回支部長会議	富山商工会議所ビル
10月27日～11月7日	市町村長要望	全市町村
11月 1日、2日	浄化槽管理士技術講習会 1日…高岡会場 2日…富山会場	1日:アイザック小杉文化ホール 2日:富山テクノホール
11月 8日	全浄連常任理事会	東京都
11月15日16日	東海北陸ブロック協議会研修会及び役員連絡会	福井市
11月20日	富山県知事要望	富山県庁
11月21日、22日	全浄連北陸地区協議会各県会長会議	新潟県三条市
11月21日、22日	青年部会視察研修会	千葉県方面
11月24日	中部支部環境出前講座	富山県中部厚生センター
12月11日	正副会長会議	富山県環境保全協同組合ビル
12月19日	第5回青年部会幹事会	富山県民会館